



門松を飾っていただきました

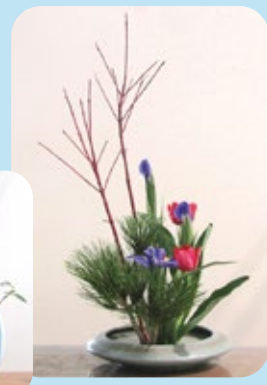
シルバー人材センターの皆様が、門松を飾ってくださいました。正面玄関が正月らしく華やかになりました。

ありがとうございました！！



今月のお花

小林華道連盟の皆様から、毎週すばらしいお花をいただいています。



ELNEC-J 「高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア」

5月からスタートしたELNEC-Jの講義内容を紹介します。

1月10日のモジュール9では高齢者のエンド・オブ・ライフケアにおける看護師の役割について学びました。

最後まで意思のある存在として理解し尊厳を保持するためには、一人ひとりの歴史や価値観、過去の生活にも目を向ける必要があります。自ら語る事が難しくなる高齢者だからこそ、看護師には代弁者としての役割が求められます。

高齢者は、疾患や加齢に伴う機能の低下で、自分のことが自分でできなくなっていくます。他人の手を借りなければ生活を送ることが難しくなるからこそ、日々繰り返される日常生活上のケアが大切です。

また、介護しているご家族の身体的・精神的状況への配慮も必要です。

ELNEC-Jとは

「米国のアメリカ看護大学協会とCity National medical Centerが共同して設立した教育プログラムの日本語版です。

エンド・オブ・ライフ・ケアや緩和ケアを提供する看護師に必須とされる能力修得のための系統的なプログラムとなっています。

老化と日常生活への影響

もの忘れ 睡眠障害

見えにくい 聞こえにくい

消化不良

肺活量の低下 運動能力の低下

転倒・骨折

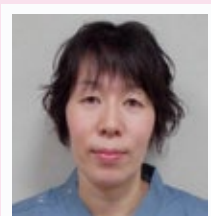
意思決定が困難 等々

高齢者の尊厳の保持

・毎日、繰り返し、丁寧に行われるケアこそ、高齢者の尊厳の保持につながる

・日々、繰り返されるケアにこそ価値がある

ファシリテーターからひとこと



今回は老年期のエンド・オブ・ライフ・ケアについて学習しました。老年期では様々な合併症を抱えている方も多く、また認知機能の低下などにより症状を適切に表現できない場合があります。関わる人がその微弱なサインをしっかりキャッチできるようになることが大切です。患者さんやご家族がおだやかに過ごせるよう、学びを深めていくことができました。

作業療法士 三宅 理加